

★地域の行事や身近な話題、耳寄りな情報をお待ちしています!

広報誌への問い合わせ、取材依頼は… 役場企画財政課広報統計係
☎ (86) 1134 [直通]



↑スイカ割りを楽しむ児童ら

←太陽の里ではイチイやツバキなどの記念樹を植栽

★夏休みを利用し交流事業 北と南の子どもたちがふれあう

8月8日から11日、ながしまサマースクールが実施され、北海道東神楽町の児童らが本町を訪れました。訪れたのは、同町の小学校3校に通う5・6年生27人。行政としては「花のまち」としてこれまでも交流のあった同町でしたが、少年交流事業は今回が初めての実施となりました。

8日の夕方に本町入りした児童らは、9日の朝カーンを体験。小浜海水浴場で予定していた地引網は、都合により中止となったものの、海水浴やスイカ割りなどを楽しみました。9日夕方から10日にかけては同世代の子どもを持つ家庭へそれぞれホームステイし、各ステイ先でブリのエサやり体験や、獅子島での化石見学などして楽しみました。

参加した児童らは「ぶりが美味しかった」「東神楽ではできない体験ができた」と満足げに話し、思い出と笑顔をお土産に北の大地へ帰って行きました。

★長島中学校吹奏楽部が優良賞

自分たちの演奏に大満足

8月9日、第10回南九州地区吹奏楽コンテストが熊本市で開催され、長島中学校（新田薫校長）の吹奏楽部が優良賞を受賞しました。

コンテストには、鹿児島、熊本、宮崎、大分、沖縄各県の代表校が出演。中学校の部では出場した12校の中でも最少人数となった同部ですが、前日夜からの移動の疲れも見せず元気よく演奏しました。

荒川綾音部長は「素晴らしいホールで自分たちの演奏ができた。出場できたのは仲間や家族、地域のかたがたの支えがあったから」と感謝の気持ちを述べました。



↑優良賞を受賞した部員と指導に当たる尾ノ口夏美教諭



↑道路脇でゴミを拾う参加者

★道の日でボランティア ポイ捨ては止めて

国土交通省が定める8月10日の「道の日」にあわせて、8日、長島町建友会（福山義弘会長）が道路の清掃ボランティアを行いました。

この日は、町内の建設業者など33社51人が参加して、国道や県道に落ちていた空き缶やペットボトル、たばこの吸い殻などのごみを拾いました。

ボランティアに参加した古田陽介さんは「驚くくらいごみが多い。ポイ捨ては絶対にやめてほしい」と話しました。